

2014年度4-9月期 決算説明資料

三洋化成工業株式会社
代表取締役社長 安藤 孝夫

<http://www.sanyo-chemical.co.jp/>
コード番号:4471



<注意事項>

この資料に記載している金額は表示単位未満を切り捨てで、その他、比率等は表示単位未満を四捨五入しております。

<免責事項>

この資料には、2014年11月13日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測等が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動・原料価格の動向等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

<IRに関するお問い合わせ>

三洋化成工業株式会社 広報部

TEL 075-541-4312

FAX 075-551-2557

E-mail pr-group@sanyo-chemical.com

会社概要

創 立:1949(昭和24)年11月1日

本 社:京都市東山区

資 本 金:130億5,100万円

国内営業所:東京、大阪、名古屋、広島、福岡、富山

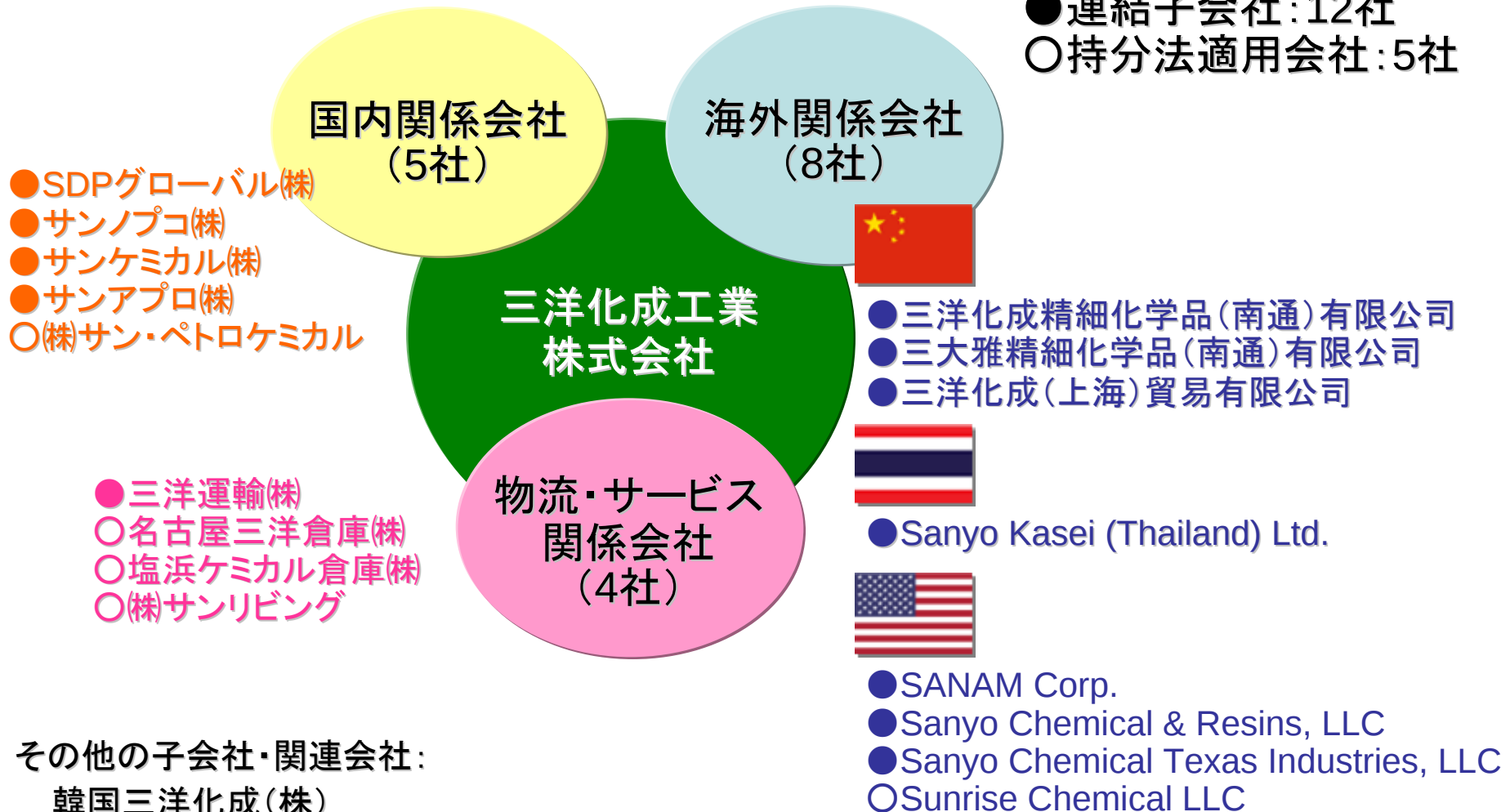
国内工場:名古屋、衣浦、鹿島、京都、川崎(サンケミカル)

従業員数:1,964名(連結)[2014年9月30日現在]

事業内容:約3,000種のパフォーマンス・ケミカルス
(機能化学品)の製造・販売

三洋化成グループ

●連結子会社:12社
○持分法適用会社:5社



その他の子会社・関連会社:

韓国三洋化成(株)
台湾三洋化成股份有限公司
SAN NOPCO (SHANGHAI) TRADING Co., Ltd.
SAN NOPCO (KOREA) LIMITED
DAXIANG INTERNATIONAL TRADING (SHANGHAI) Co., Ltd.

国内生産拠点



京都工場・本社・研究所
(東山区、約2.6万m²)



鹿島工場
(茨城県神栖市、約13万m²)



名古屋工場
(愛知県東海市、約10万m²)



衣浦工場
(愛知県半田市、約14.0万m²)



サンケミカル 川崎工場
(神奈川県川崎市、約1.1万m²)₄

海外生産拠点



三洋化成精細化学品(南通)有限公司



三大雅精細化学品(南通)有限公司



Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.



Sanyo Chemical Texas Industries, LLC



Sanyo Chemical & Resins, LLC

海外営業拠点



三洋化成(上海)貿易有限公司



SAN NOPCO (SHANGHAI) TRADING Co., Ltd.



韓国三洋化成株式会社



SAN NOPCO (KOREA) LIMITED



Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.



台灣三洋化成股份有限公司

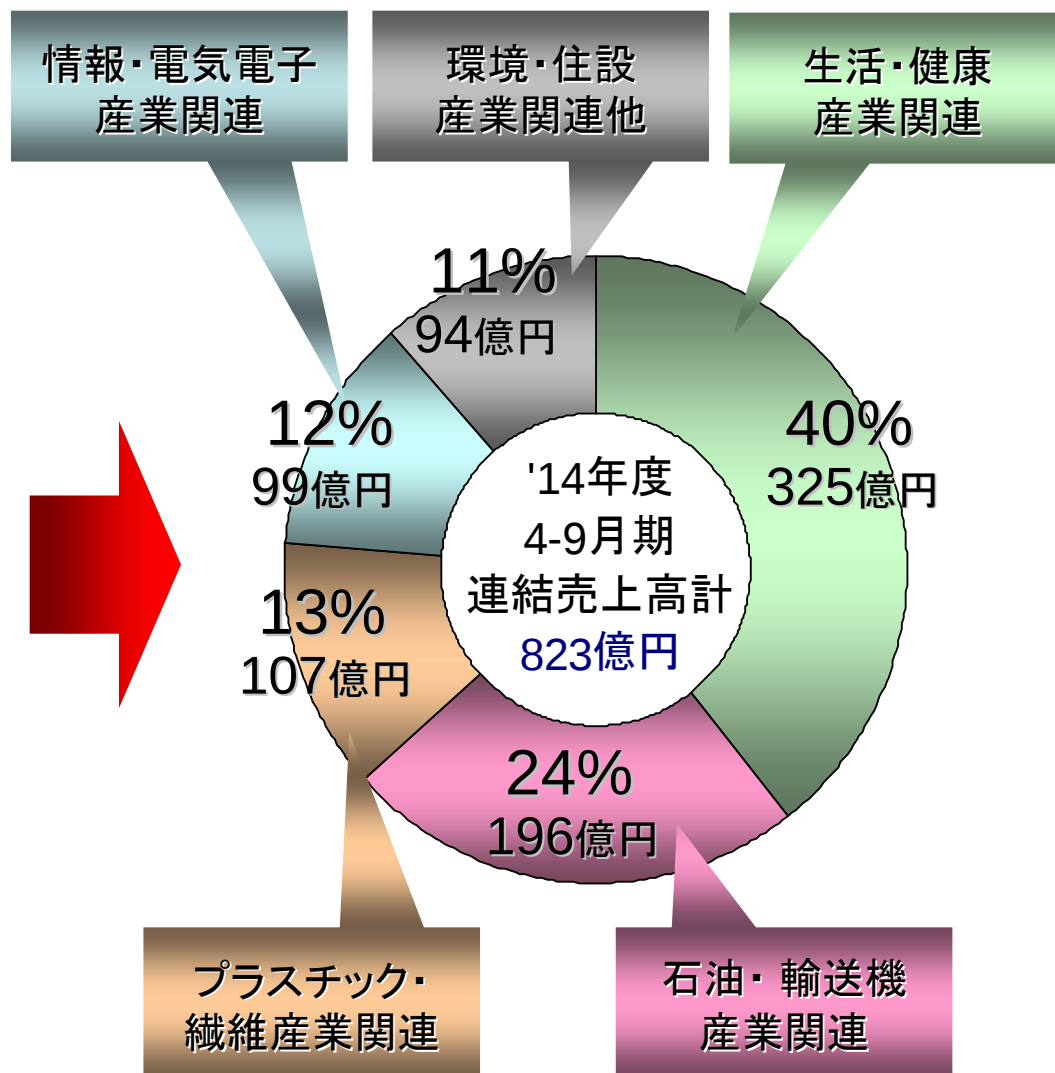
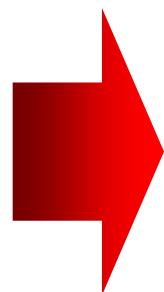
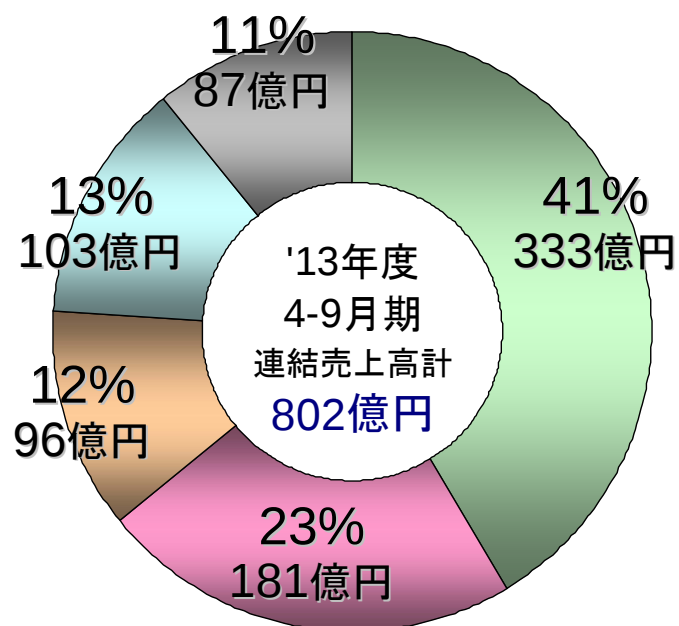


SANAM Corp.

産業分野別主要製品

大分類	中分類	主要製品
生活・健康 産業関連	生活産業関連	洗剤・洗浄剤用界面活性剤、ヘアケア製品用界面活性剤、製紙用薬剤
	健康産業関連	高吸水性樹脂(SAP)、医薬品原料、殺菌消毒剤、外科用止血材、EIA(酵素免疫測定法)用臨床検査薬、人工腎臓用ポッティング材
石油・輸送機産業関連		自動車内装表皮材用ウレタンビーズ(TUB)、ポリウレタンフォーム用原料(PPG)、潤滑油添加剤、燃料油添加剤、水溶性切削油、非ハロゲン系洗浄剤、合成潤滑油ベース、デザインモデル製作用盛り付け樹脂、自動車塗料用樹脂
プラスチック ・繊維 産業関連	プラスチック 産業関連	永久帯電防止剤、顔料分散剤、樹脂改質剤、ポリウレタンエラストマー原料、塗料用樹脂、モデル製作用合成木材
	繊維産業関連	繊維製造用薬剤、炭素繊維用薬剤、ガラス繊維用薬剤、人工皮革・合成皮革用ウレタン樹脂
情報 ・電気電子 産業関連	情報産業関連	重合トナー中間体ポリエステルビーズ(PEB)、トナーバインダー
	電気電子 産業関連	アルミ電解コンデンサ用電解液、電気二重層キャパシタ用電解液、電子材料用粘着剤、電子部品製造工程用薬剤、UV・EB硬化樹脂
環境・住設産業関連他		廃水処理用高分子凝集剤、家具・断熱材用PPG、泥水用薬剤、反応性ホットメルト接着剤、建築シーラント用原料、セメント用薬剤

連結産業分野別売上高構成



'14年度4-9月期業績

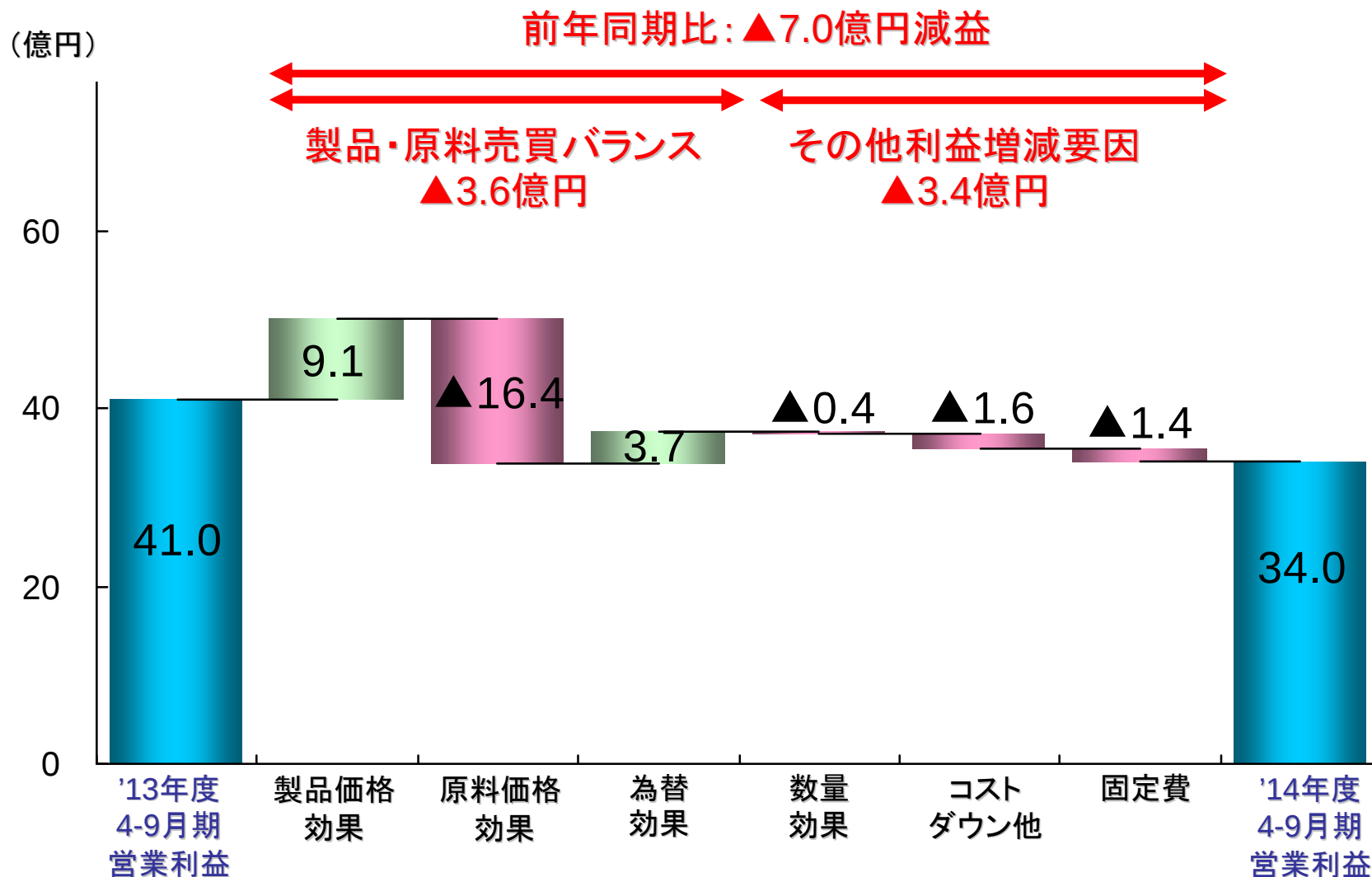
(億円)

連 結	'13年度 4-9月期	'14年度 4-9月期	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	802.3	823.1	20.8	3
営業利益	41.0	34.0	▲7.0	▲17
経常利益	50.5	38.3	▲12.2	▲24
純利益	29.3	22.7	▲6.5	▲22
包括利益	69.7	24.6	▲45.0	▲65

(億円)

単 体	'13年度 4-9月期	'14年度 4-9月期	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	492.5	515.8	23.3	5
営業利益	17.1	13.0	▲4.1	▲24
経常利益	28.4	23.8	▲4.5	▲16
純利益	21.1	17.3	▲3.8	▲18

連結営業利益の前年同期比増減要因



連結純利益の前年同期比増減要因

(億円)

	'13年度 4-9月期	'14年度 4-9月期	増減額
営業利益	41.0	34.0	▲7.0
持分法投資損益	1.5	3.3	1.7
為替差損益	3.9	0.7	▲3.1
その他営業外損益	4.0	0.1	▲3.8
経常利益	50.5	38.3	▲12.2
固定資産除却・売却による損益	▲2.9	▲3.2	▲0.3
その他特別損益	0.2	0.1	▲0.1
税金等調整前純利益	47.8	35.2	▲12.6
法人税等	▲14.0	▲9.4	4.5
少数株主利益控除	▲4.4	▲2.9	1.5
四半期純利益	29.3	22.7	▲6.5

連結貸借対照表

(億円)

	2014年 3月31日	2014年 9月30日	増減額	主な増減要因
流動資産	812	826	13	現金及び預金(4)、 受取手形及び売掛金(1)、たな卸資産(1)
固定資産	852	845	▲7	有形固定資産(▲18)、投資有価証券(13)
資産合計	1,665	1,671	6	
流動負債	538	526	▲12	支払手形及び買掛金(9)、短期借入金(▲11)、 未払法人税等(▲4)
固定負債	87	87	0	長期借入金(5)、退職給付に係る負債(▲10)、 繰延税金負債(7)
負債合計	626	614	▲11	
株主資本	899	917	18	四半期純利益(22)、配当金支払(▲8)
その他 包括利益	92	93	1	その他有価証券評価差額金(8)、 為替換算調整勘定(▲8)
少数株主持分	47	46	▲1	
純資産合計	1,039	1,057	18	
負債・純資産合計	1,665	1,671	6	

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	'13年度 4-9月期	'14年度 4-9月期	増減額	主な増減要因
営業活動CF	77	57	▲20	
税金等調整前純利益	47	35	▲12	
減価償却費	45	46	0	
持分法投資損益	▲1	▲3	▲1	
運転資金の増減	2	3	0	
法人税等	▲11	▲13	▲1	
その他	▲5	▲9	▲4	
投資活動CF	▲47	▲37	9	
フリーCF	30	20	▲10	
財務活動CF	▲20	▲12	7	('14年度4-9月期) 借入・返済(▲2)、配当金支払(▲8)
現金及び現金同等物に 係る換算差額	3	▲3	▲6	
現金及び現金同等物の 増減額	13	4	▲8	
現金及び現金同等物の 期首残高	101	154	53	
現金及び現金同等物 期末残高	114	159	44	

'14年度業績予想

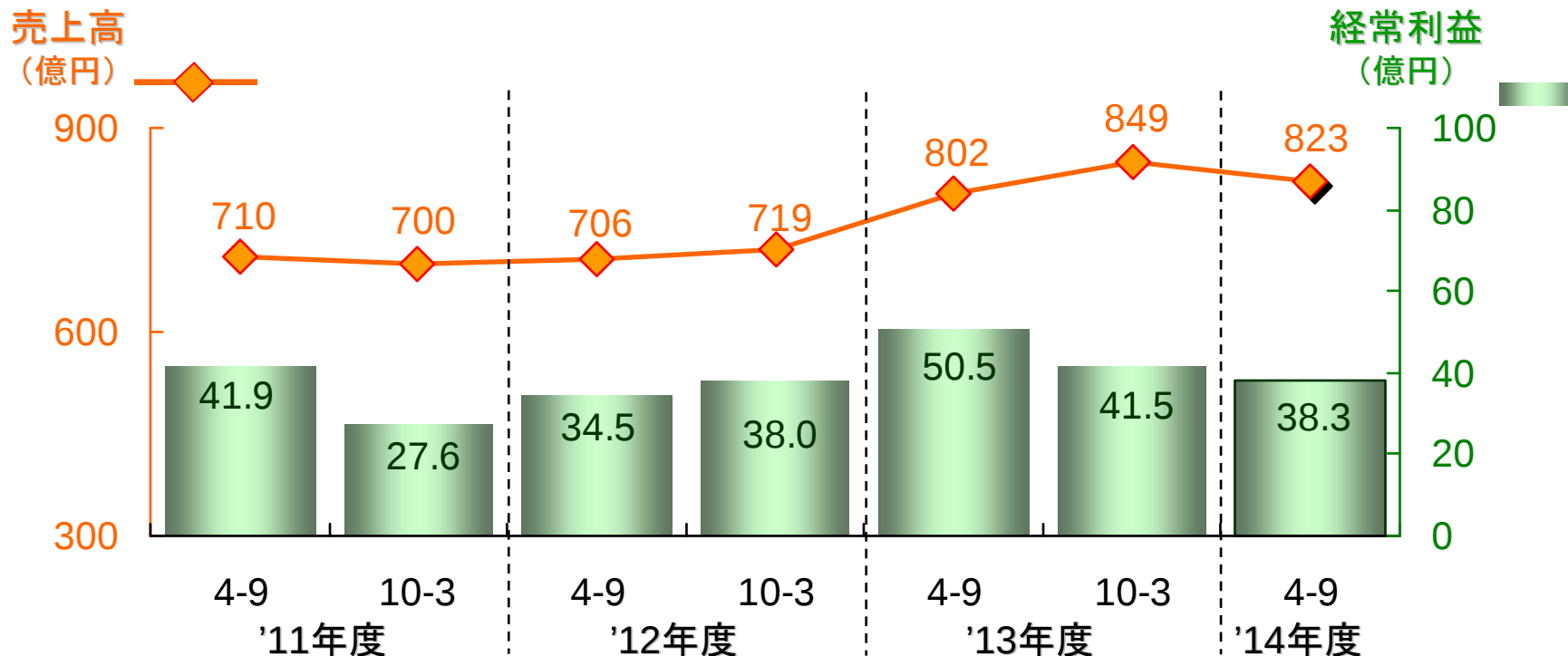
(億円)

連 結	'14年度 通期	'14年度 4-9月期		'13年度 通期
	予想値	実績	進捗率(%)	実績
売上高	1,720.0	823.1	48	1,651.8
営業利益	88.0	34.0	39	81.1
経常利益	100.0	38.3	38	92.1
純利益	60.0	22.7	38	49.1

単 体	'14年度 通期	'14年度 4-9月期		'13年度 通期
	予想値	実績	進捗率(%)	実績
売上高	1,050.0	515.8	49	1,021.4
営業利益	35.0	13.0	37	32.1
経常利益	55.0	23.8	43	53.6
純利益	40.0	17.3	43	▲2.6

	期初前提条件	'14上期	'14下期見込
国産ナフサ価格(kl/千円)	67.0	70.4	~60.0~
為替レート(円/\$)	102.0	103.0	~110~

連結業績の推移

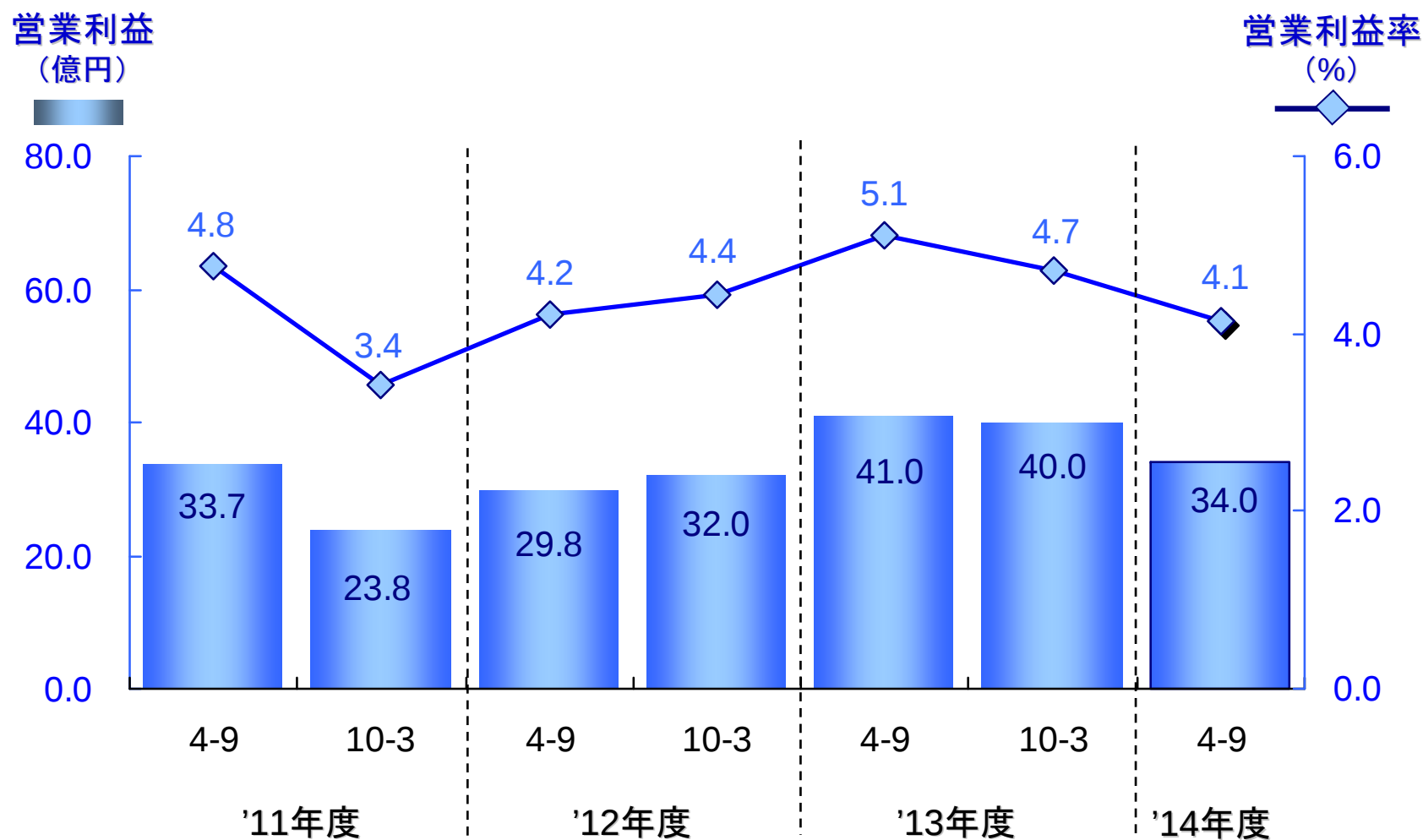


	'12年度				'13年度				'14年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
国産ナフサ(千円/kl)	60.6	49.8	55.8	63.8	65.5	63.9	67.8	72.0	69.9	70.9
為替レート(円/\$)	79.4		86.6		98.9		101.5		103.0	

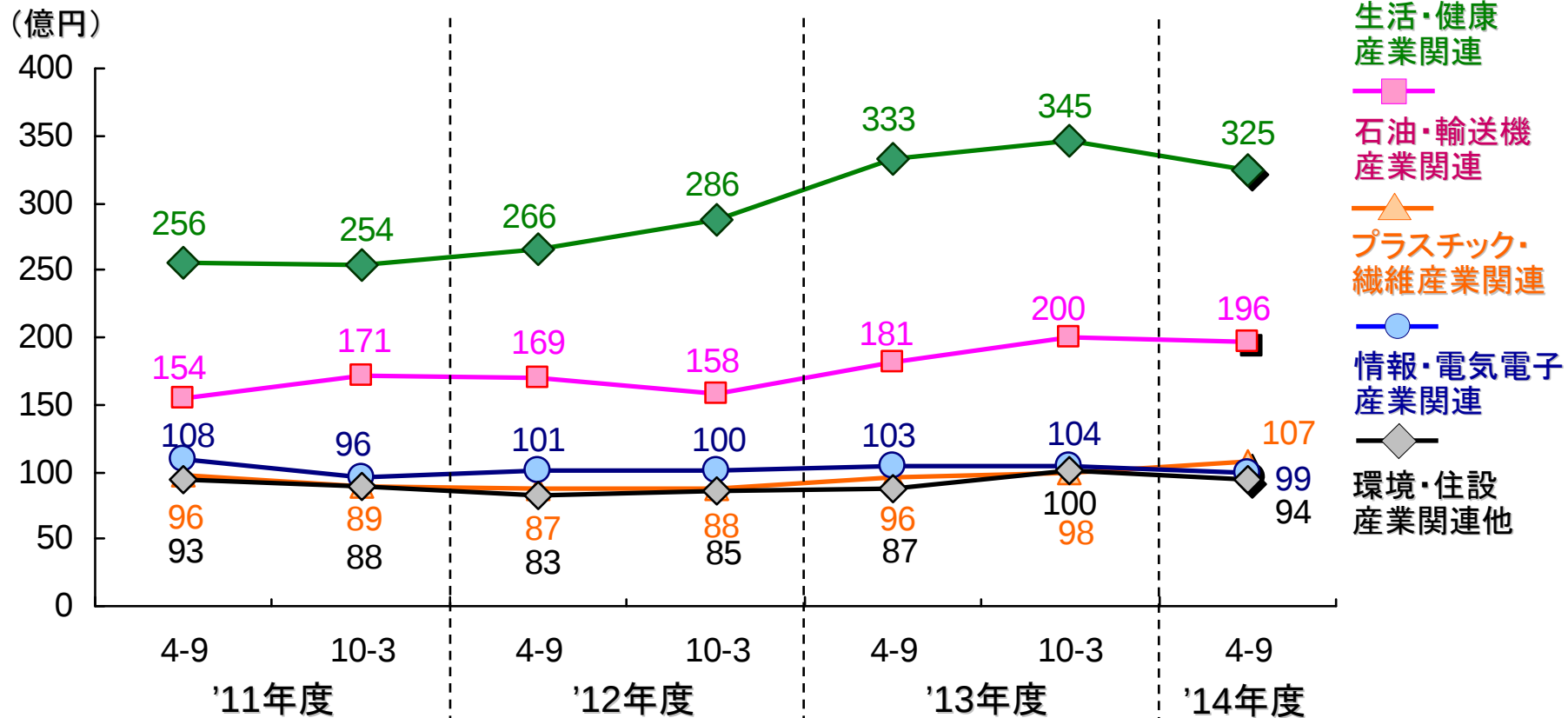
上期業績の主な増減要因(前年同期比)

- ・売上高は、ポリウレタンフォーム用原料(PPG)などの自動車関連製品の拡販が進んだことなどにより増収
- ・経常利益は、原燃料価格が前年同期比高値となったこと、為替差益の減少などにより減益

連結営業利益(同率)の推移



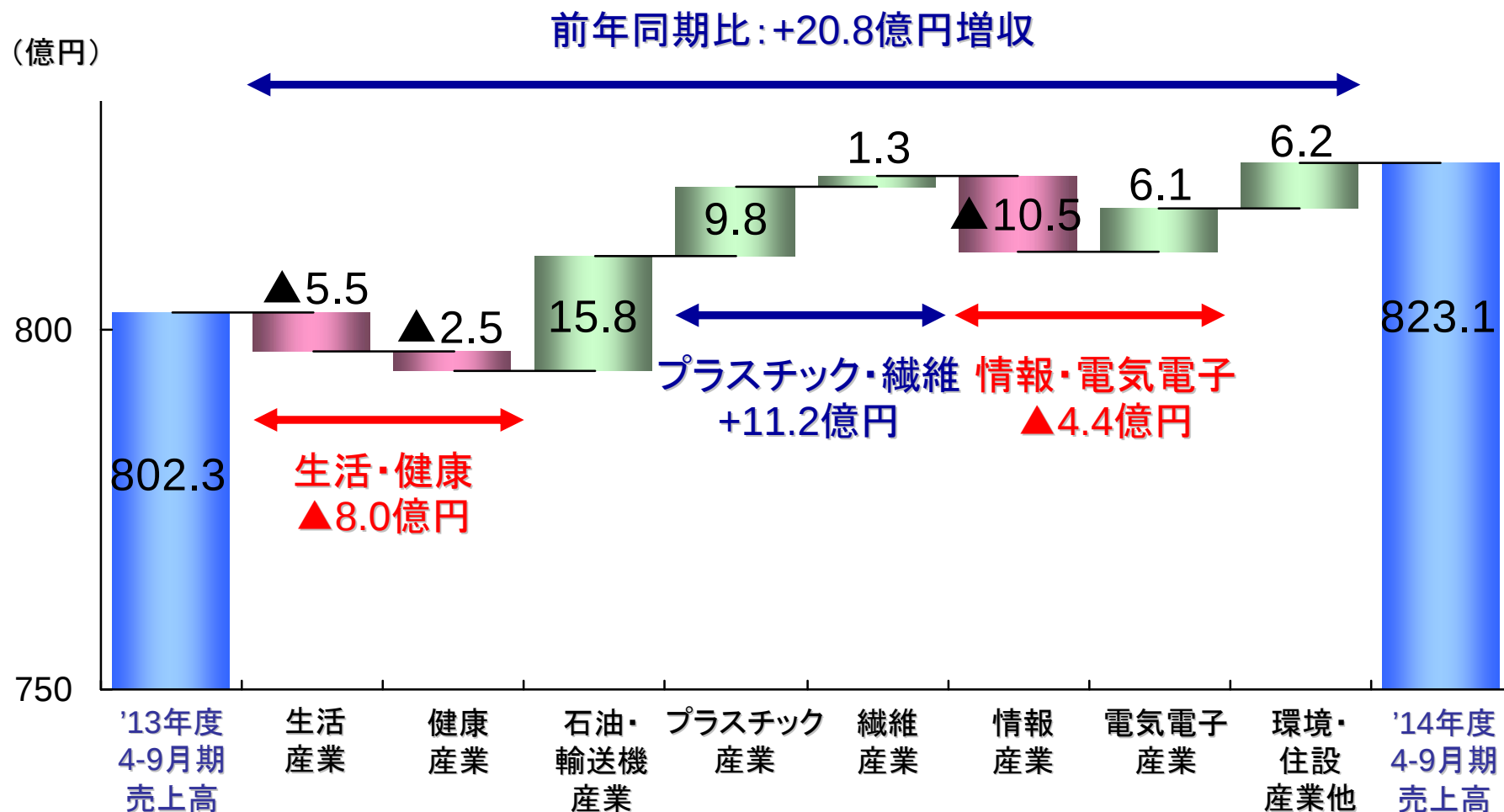
連結産業分野別売上高の推移



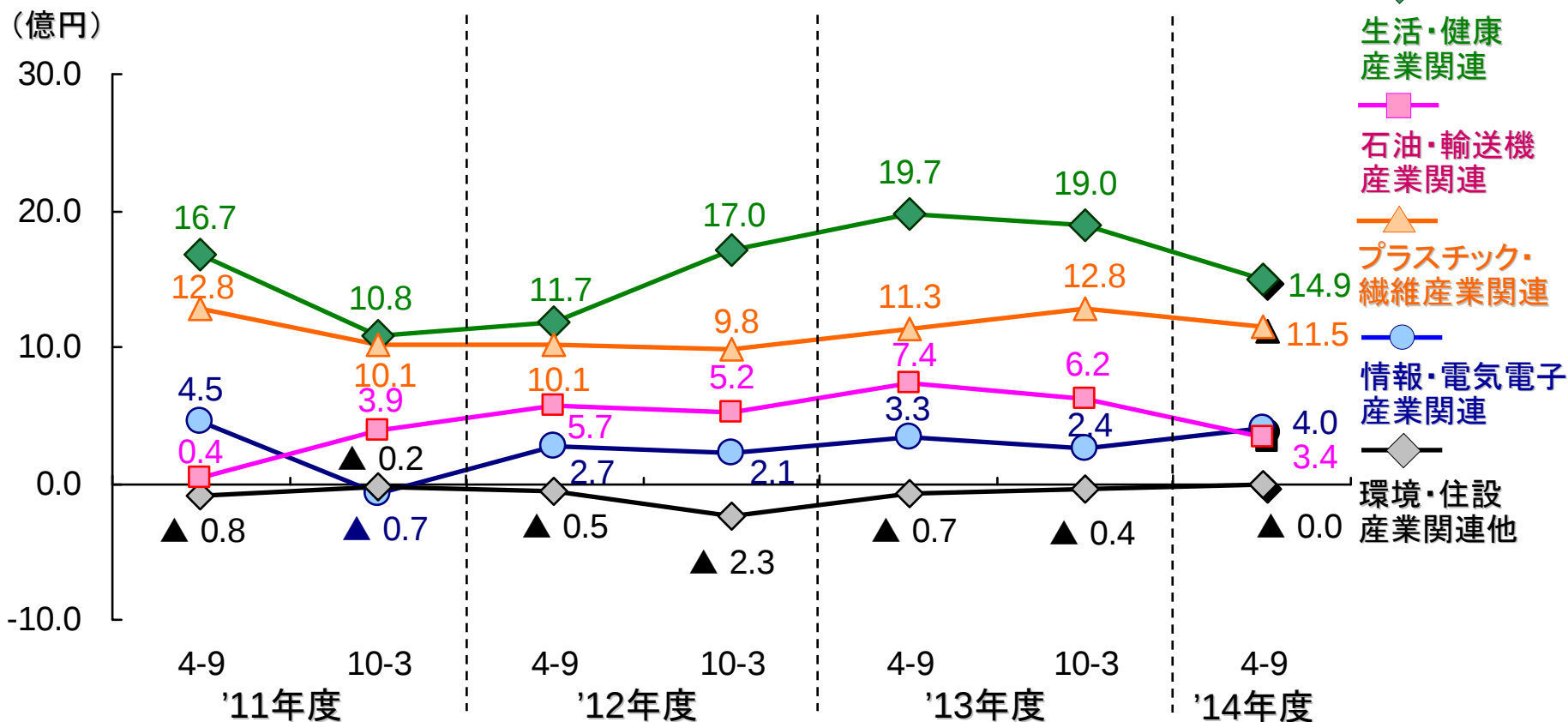
上期業績の主な増減要因(前年同期比)

生活・健康産業	: ヘアケア製品用界面活性剤の競争激化により減収
石油・輸送機産業	: PPGの海外における大幅拡販、潤滑油添加剤の米国新設備が寄与し増収
プラスチック・繊維産業	: 塗料・コーティング用薬剤、永久帯電防止剤、炭素繊維用薬剤が好調に推移し増収
情報・電気電子産業	: アルミ電解コンデンサ用電解液の復調、FPD用樹脂、電子材料用粘着剤が好調なものの、重合トナー中間体の一時的な需要減、トナーバインダーの海外生産中止により減収
環境・住設産業他	: 高分子凝集剤が低調なものの、建築用シーラント、家具断熱材用原料(PPG)などが好調に推移し増収

連結売上高の産業分野別前年同期比増減



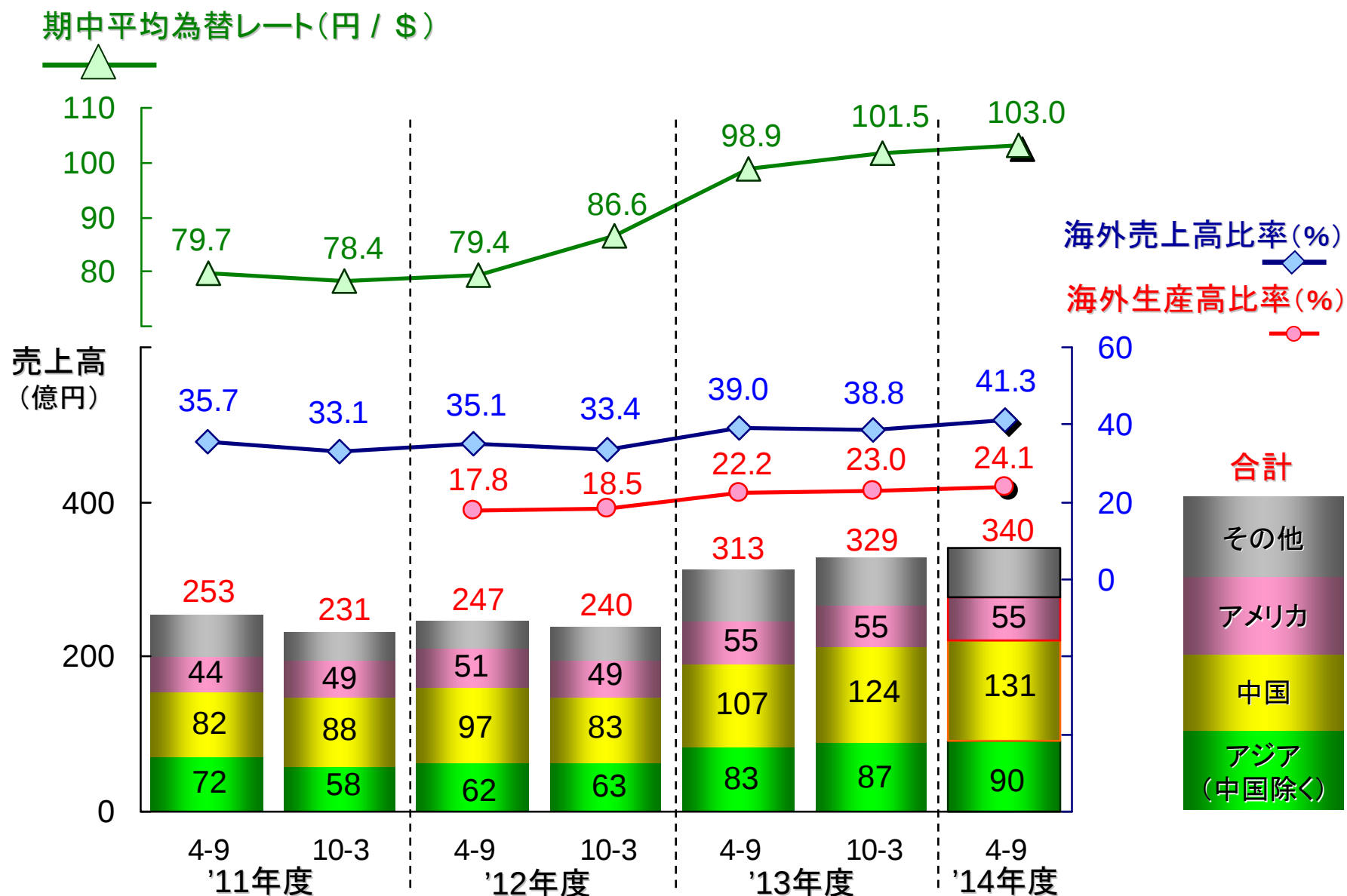
連結産業分野別営業利益の推移



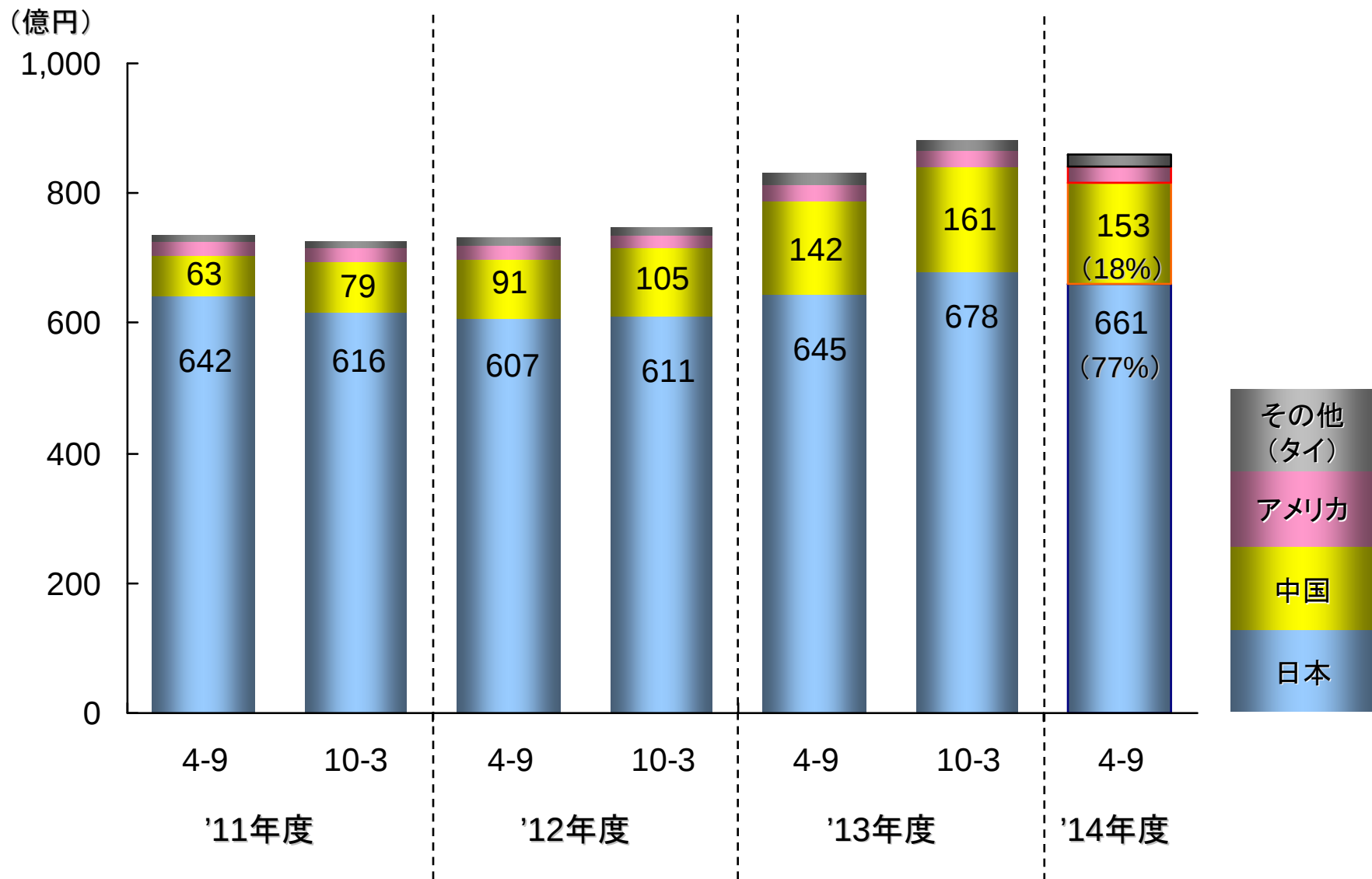
上期業績の主な増減要因(前年同期比)

生活・健康産業	: ヘアケア製品用界面活性剤の競争激化、SAPは新グレードを拡販するも競争激化により減益
石油・輸送機産業	: 増収も、PPGや潤滑油添加剤が原燃料価格の高騰により減益
プラスチック・繊維産業	: 原燃料価格の影響は受けつつも、永久帯電防止剤等の拡販が進み横ばい
情報・電気電子産業	: アルミ電解コンデンサ用電解液の復調など、商品構成の良化により増益
環境・住設産業他	: 建築用シーラント、家具断熱材用原料(PPG)などが好調に推移し、赤字縮小

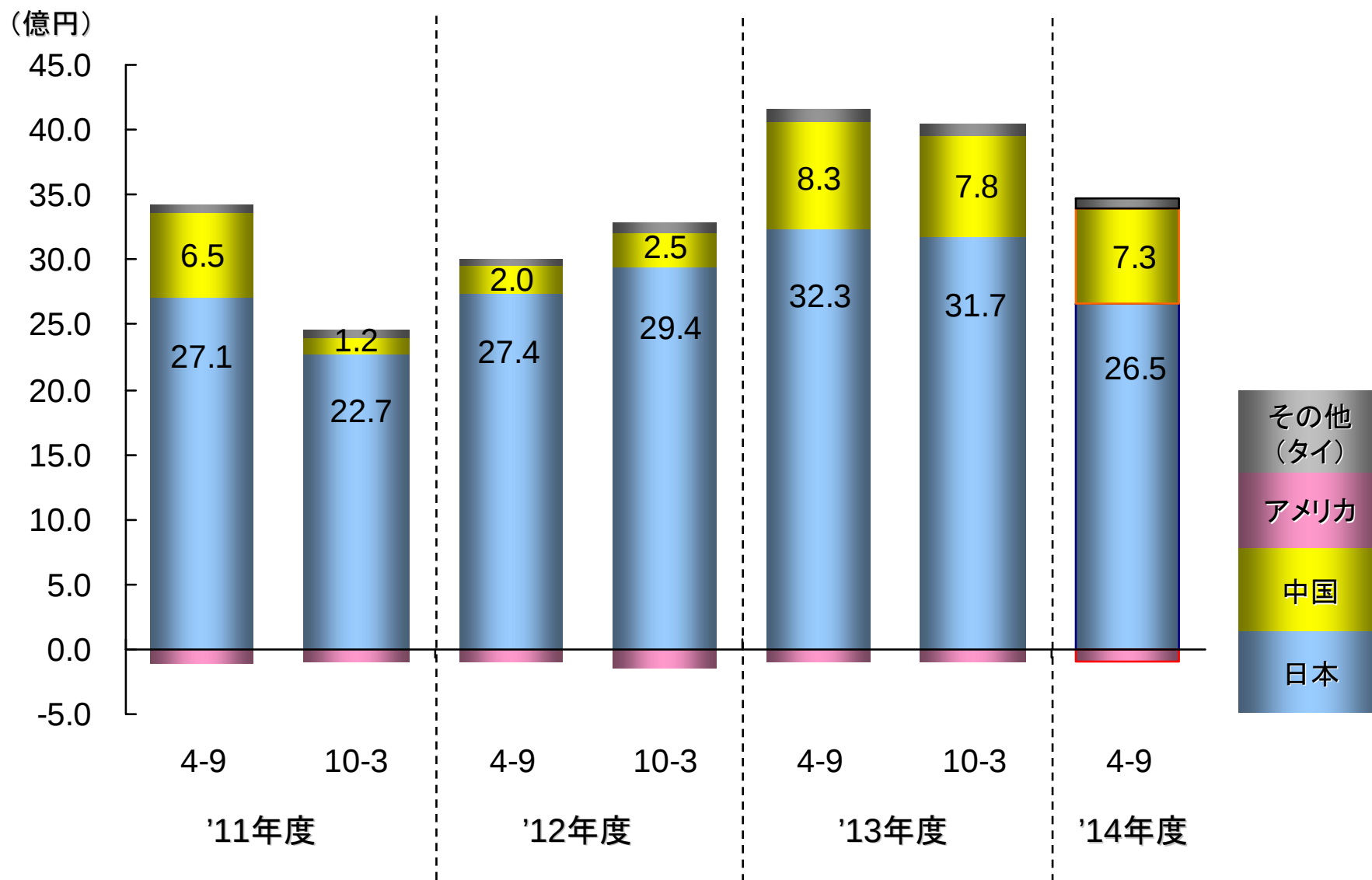
連結海外売上高の推移



連結所在地別売上高の推移(単純合算)



連結所在地別営業利益の推移(単純合算)



戦略的開発品の進捗状況

戦略的開発品

29アイテム

収益力向上と事業領域拡大を支える“原動力”

新分野アイテム

エネルギー関連薬剤
電子部品用薬剤
バイオ関連薬剤 など

基盤拡大アイテム

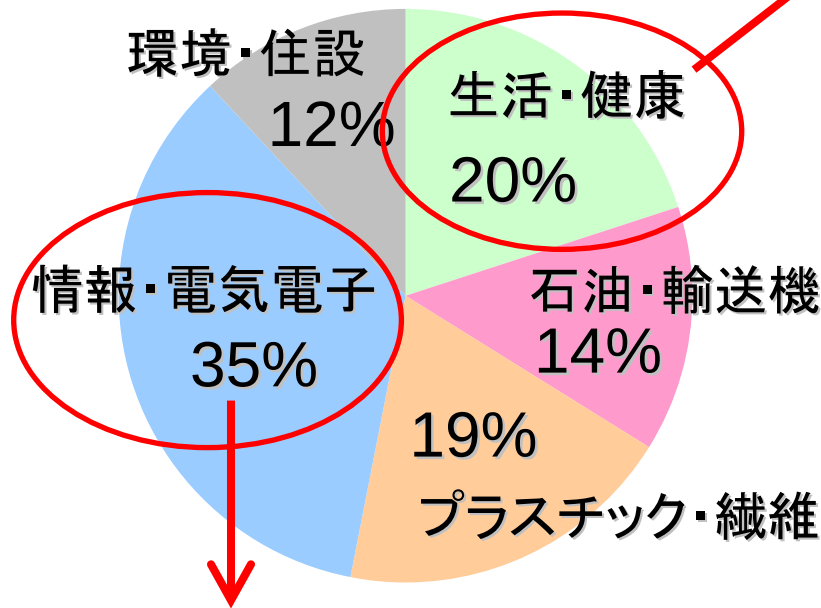
SAP
トナー用材料
PPG など

(億円)

	'12年度		'13年度		'14年度 4-9月期
	4-9月期	通期	4-9月期	通期	
生活・バイオ分野他	12	46	38	85	52
自動車分野	52	135	75	154	80
情報・電気電子材料分野	57	116	55	112	52
戦略的開発品 合計	122	297	168	352	184

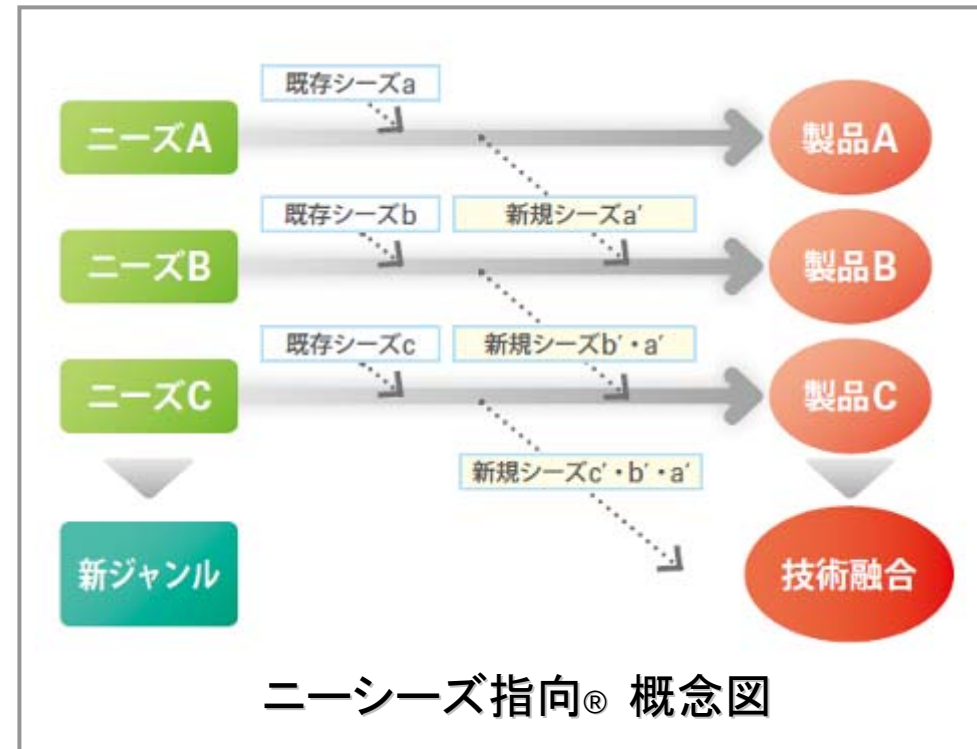
研究戦力配分

研究戦力の配分状況



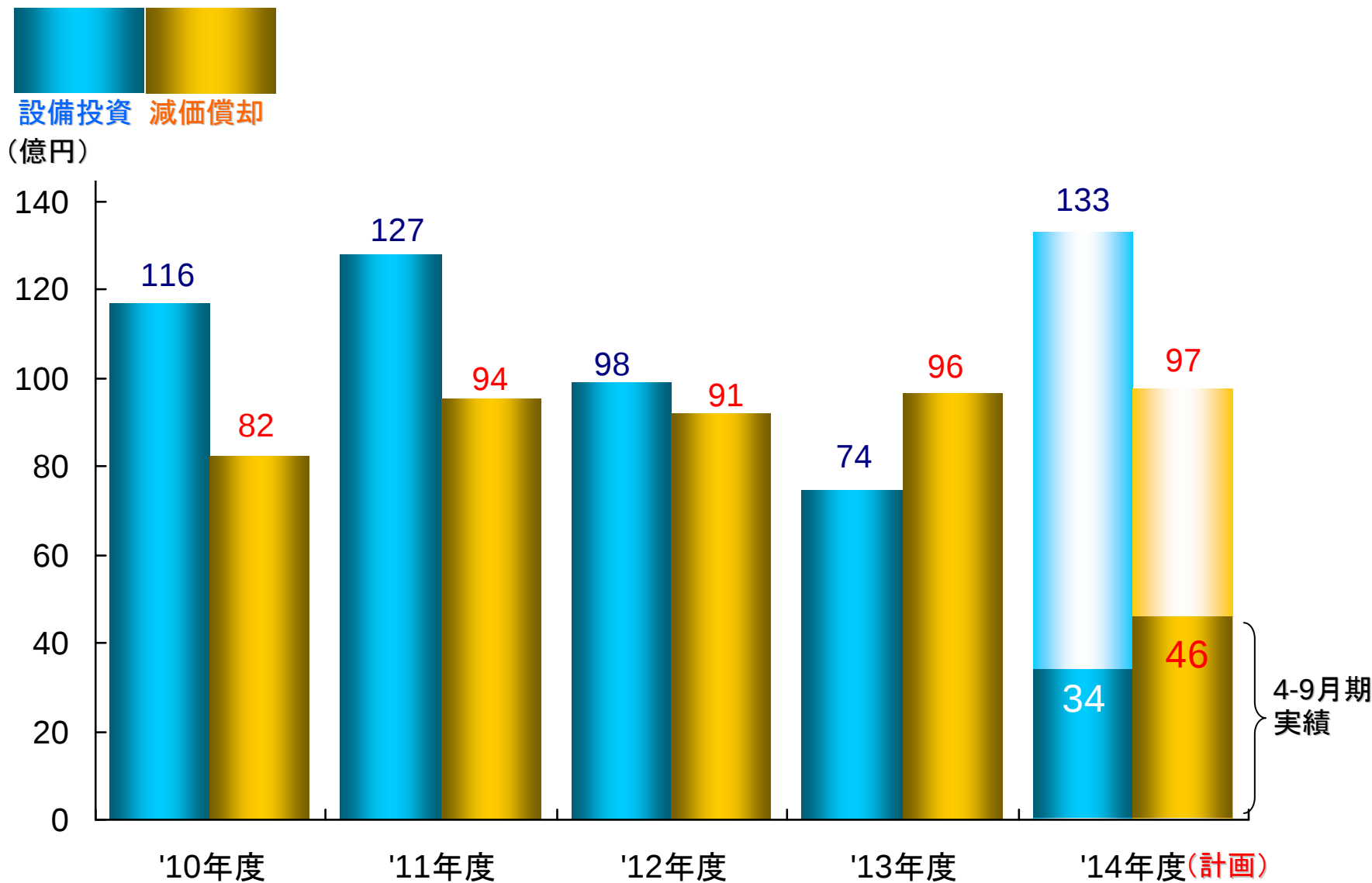
内、バイオ・メディカル分野
10%

内、エネルギー分野 10%
エレクトロニクス分野 12%



成長分野であるエネルギー・エレクトロニクス分野、
バイオ・メディカル分野に研究戦力の30%以上を配分し、
研究開発に拍車をかける

設備投資と減価償却(連結)



主な設備投資アイテム

(億円)

	'13年度	'14年度 (計画)
設備投資額	74	133
減価償却費	96	97

(※)

SDN: 三大雅精細化学品(南通)

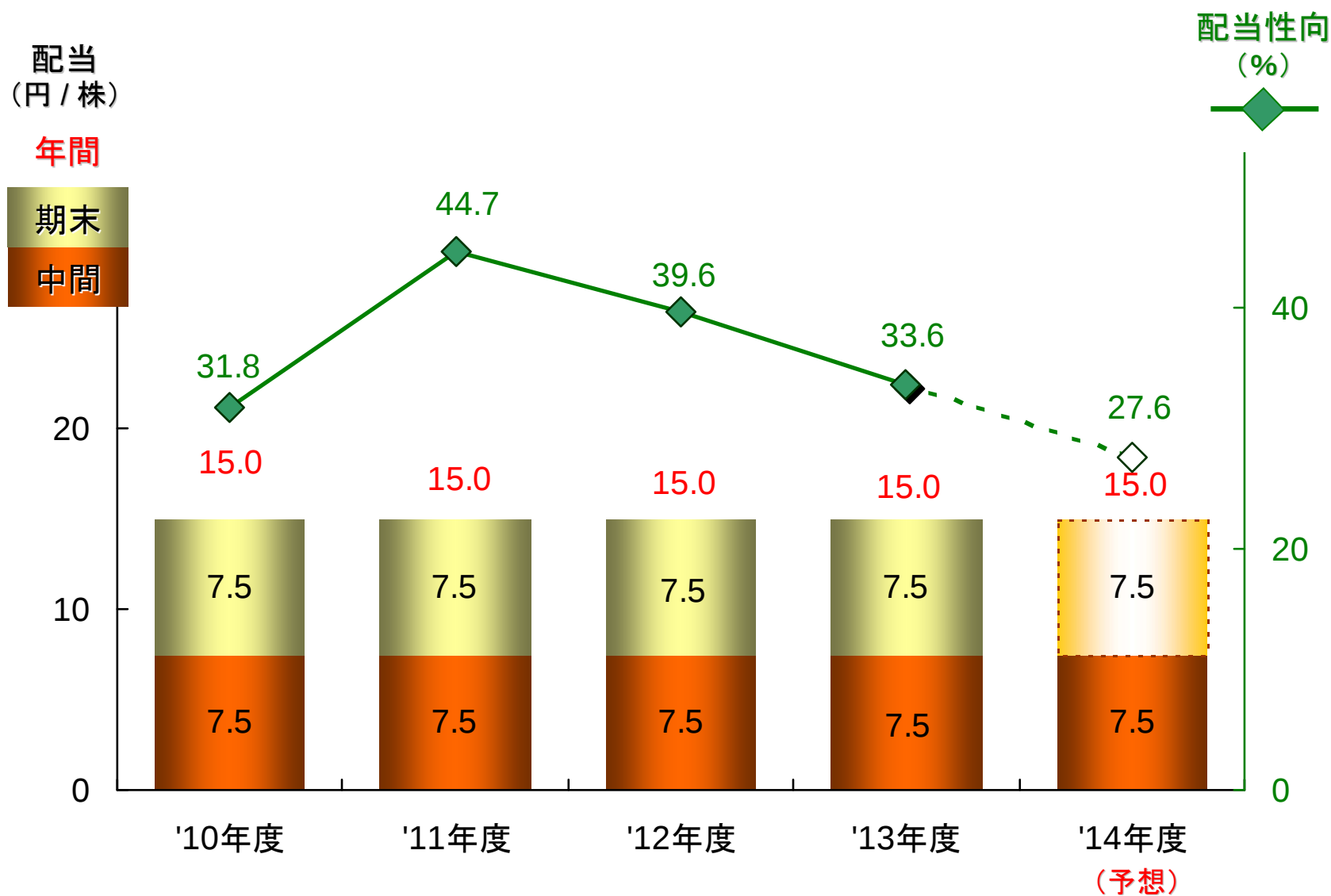
SKN: 三洋化成精細化学品(南通)

SKT: サンヨーカセイ(タイランド)リミテッド

(億円)

			稼働時期 (年度)	総投資額
単体	海外子会社業務システム導入		2013-14	4
	電子材料用粘着剤製造設備		2015	2
	新製造事務所改装工事(京都工場)		2015	1
関係会社 (※)	SDN	高吸水性樹脂製造設備	2015	54
	SKN	潤滑油添加剤製造設備	2015	2
	SKT	有機合成設備 テクニカルセンター	2014	1
			2014	1

1株当たり配当と配当性向の推移(連結)



トピックス(1) 当社の差別化戦略

技術開発力の強化

既存技術(シーズ)を
活かした新技術開発

基盤事業拡大 (高機能化)

量より質(高機能化)を
重視した基盤事業拡大

SG-SAP

エンジンオイル用潤滑油添加剤

1級OH-PPG など

新分野展開

成長市場への展開

エネルギー関連薬剤

電子部品関連薬剤

バイオ関連薬剤など

技術開発力を原動力に、既存事業の高機能化と
新分野への展開を両輪とした研究開発

トピックス(2) 高機能PPG製造設備の増強

- 場所 : 衣浦工場
- 生産能力 : 4,400トン／年(現在)⇒7,200トン／年(増強後)
- 稼働時期 : 2015年4月稼働予定

【PPGにおける当社の状況】

- ・日本市場(700億円)では、**当社シェアは約30%**
- ・今後も 新プロセス対応PPGパイロットプラントを段階的に増強していく予定

PPG(ポリプロピレングリコール)とは

- ・ポリウレタンフォーム用原料(PPG)は、自動車内装材や家具などのクッション材、断熱材、シーラント・塗膜防水材料として使用
- ・世界的にコスト競争が激しい
- ・世界では年率1～4%で成長期待('14年度についてはやや成長鈍化)(中国では年率5～8%で成長、日本・韓国市場は飽和)



パイロット設備を増強する
衣浦工場AOAプラント

トピックス(2) 高機能PPG製造設備の増強

高機能PPG『プライムポール』の特長

- 副生成物が少なく、ウレタンフォーム物性が低下しない
従来のウレタンフォームより低密度で、同等の強度を維持
- ウレタン化反応が速く、空気中の水分等との副反応が起こりにくい



- ⇒ ウレタンフォームの耐久性向上
- ⇒ 軽量化に貢献



高機能PPGの場合



従来PPGの場合

- ⇒ 施行時間の短縮
- ⇒ 耐水性向上
- ⇒ フクレ(上写真)防止

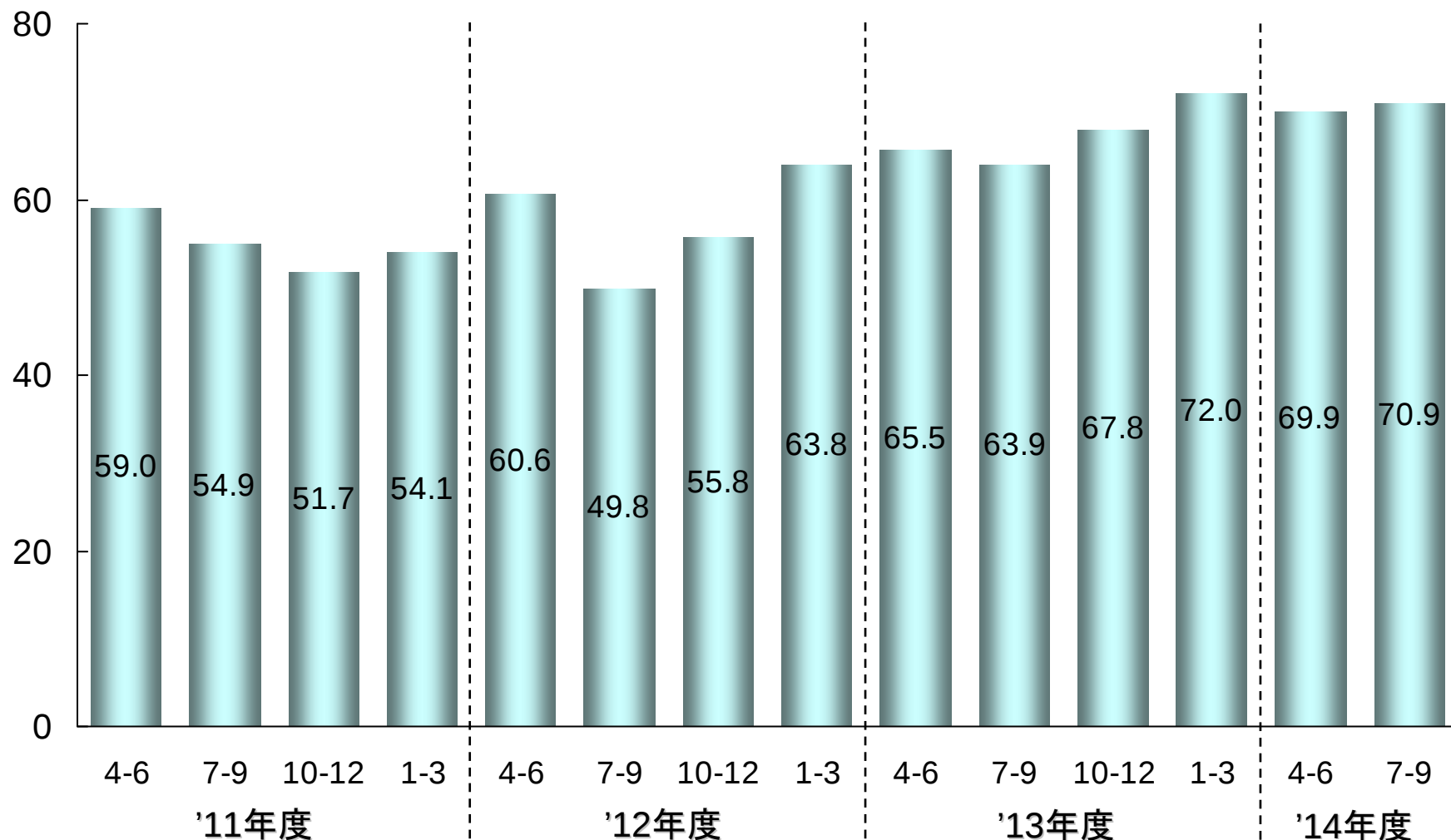
平成25年 高分子学会賞(技術部門)を受賞

高生産性かつ高品質のPPG生産プロセスとして、
技術開発と工業化の実績が評価された

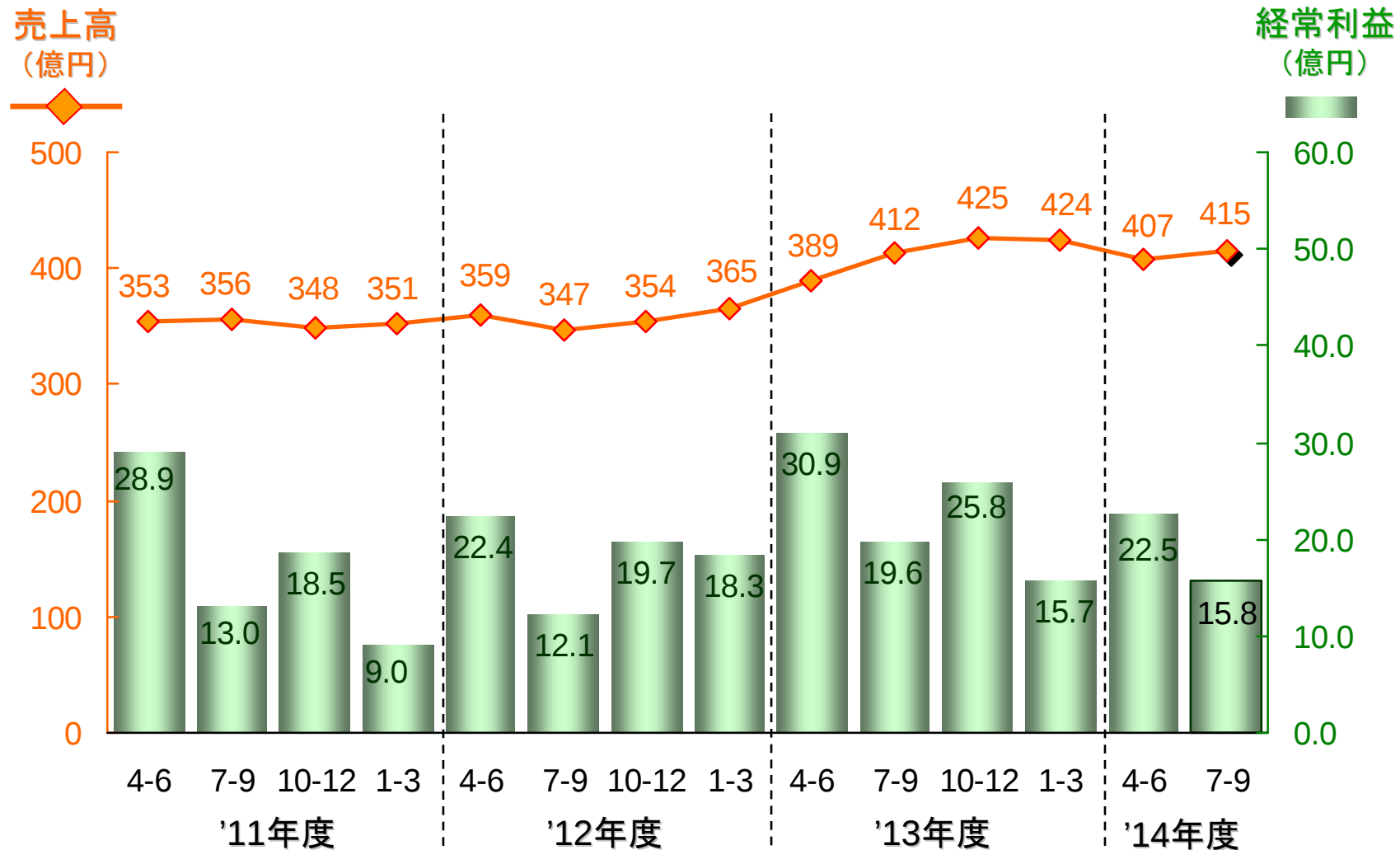
参考資料

国産ナフサ価格の推移

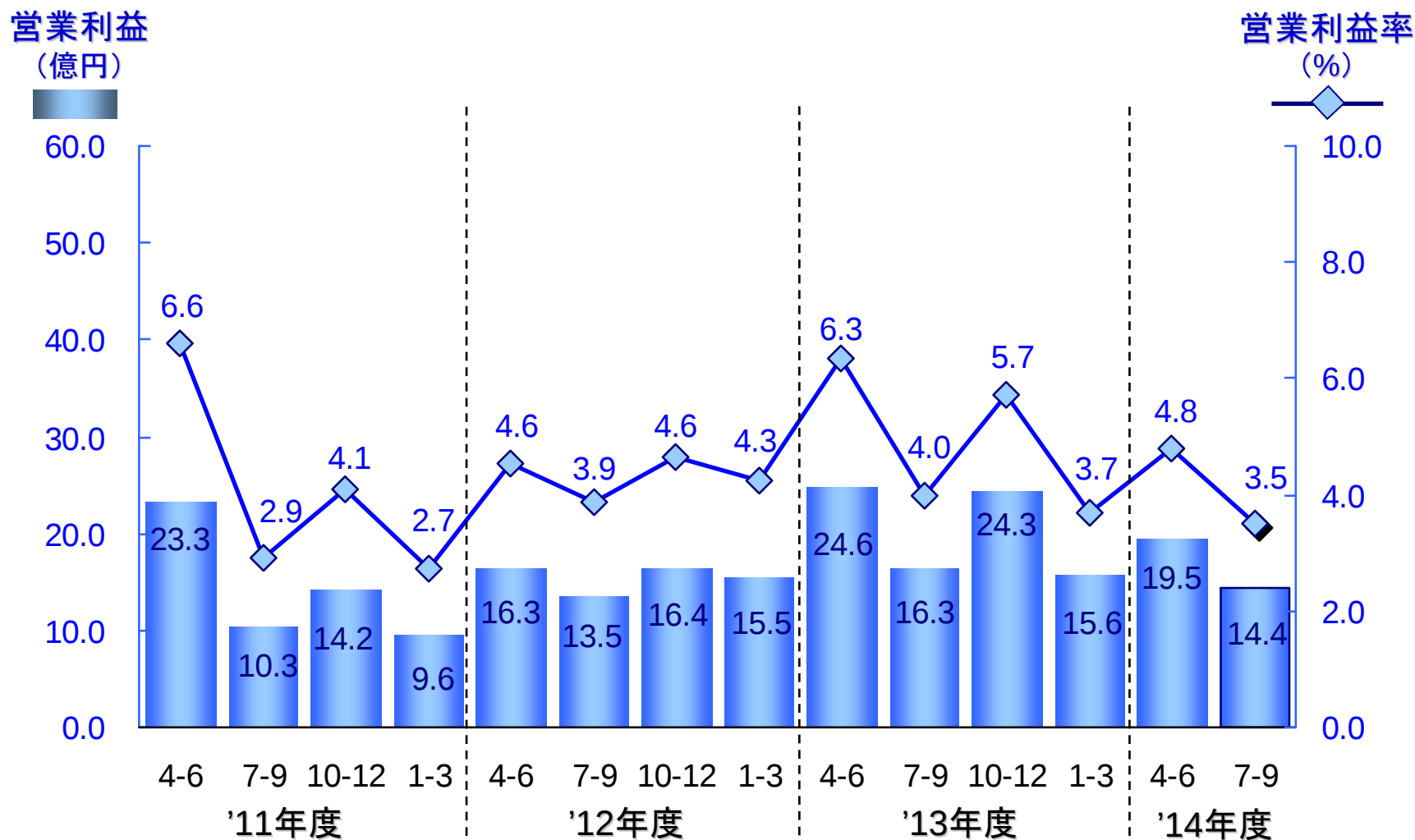
国産ナフサ価格
(千円/kl)



連結業績の四半期別推移



連結営業利益(同率)の四半期別推移



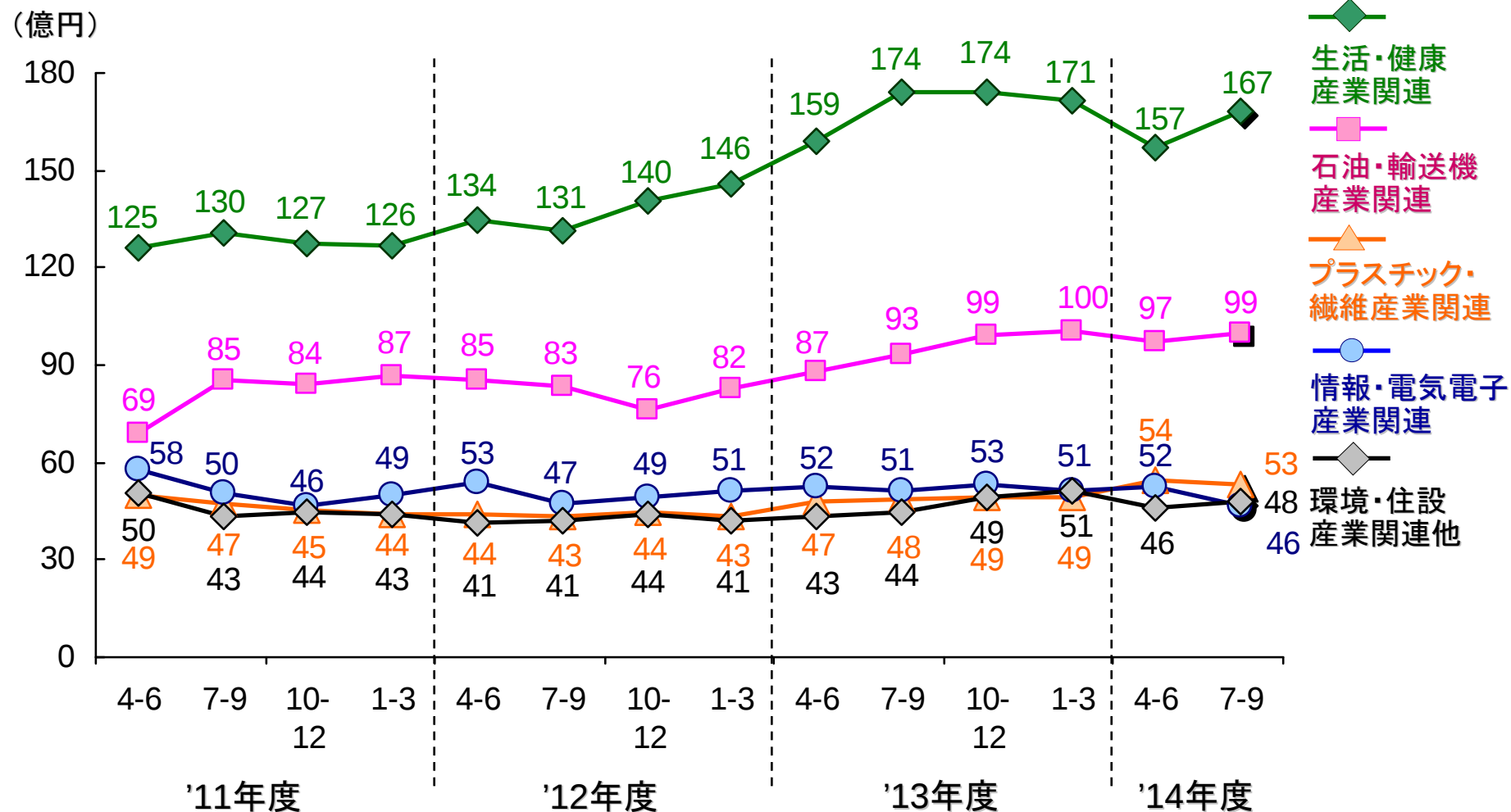
'14年度4-9月期 産業分野別業績

(億円)

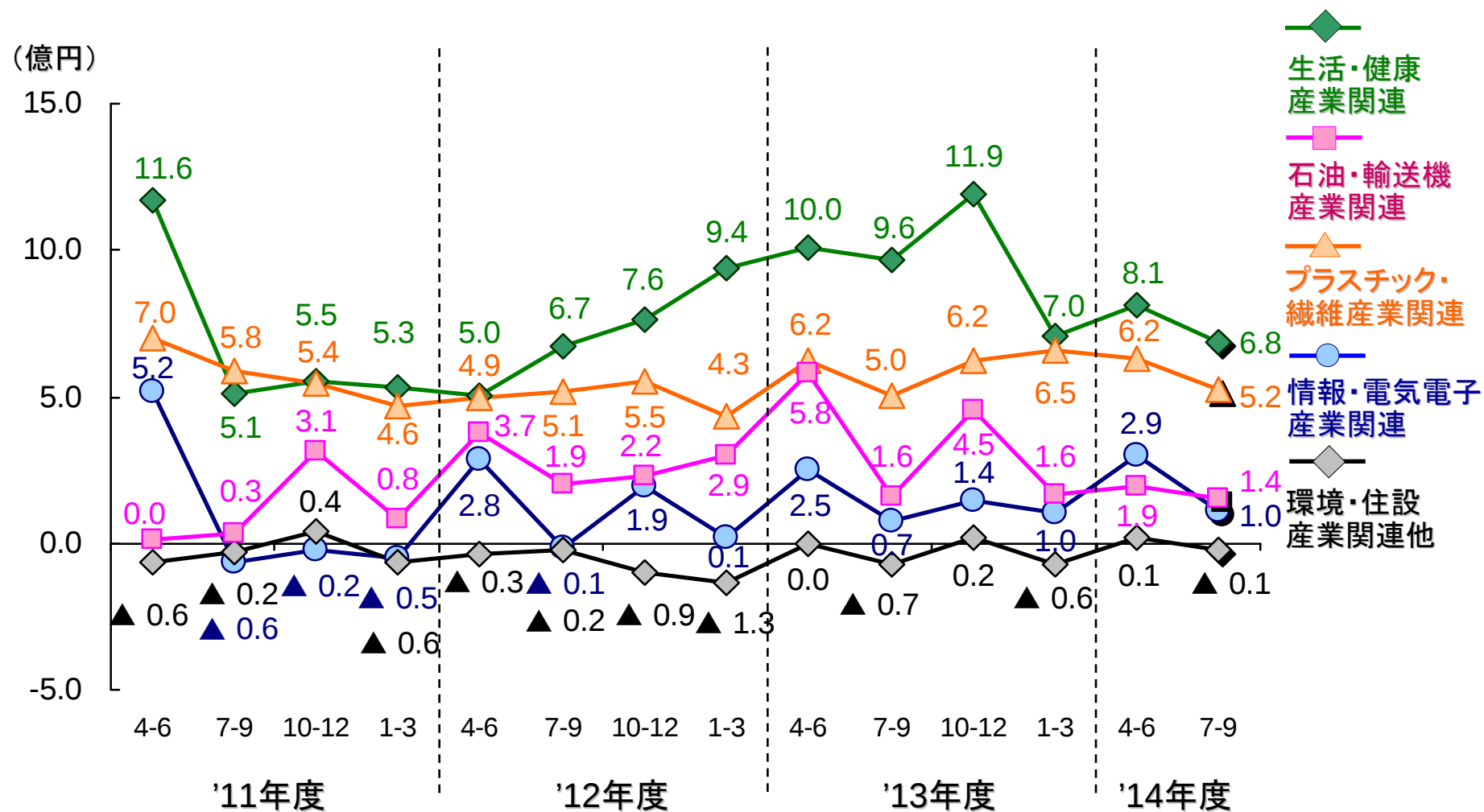
産業分野	売上高			営業利益		
	'13年度 4-9月期	'14年度 4-9月期	増減額	'13年度 4-9月期	'14年度 4-9月期	増減額
生活・健康産業関連	333.2	325.1	▲8.0	19.7	14.9	▲4.7
生活産業関連	69.0	63.5	▲5.5			
健康産業関連	264.1	261.6	▲2.5			
石油・輸送機産業関連	181.0	196.8	15.8	7.4	3.4	▲3.9
プラスチック・繊維産業関連	96.3	107.5	11.2	11.3	11.5	0.2
プラスチック産業関連	59.6	69.4	9.8			
繊維産業関連	36.7	38.0	1.3			
情報・電気電子産業関連	103.7	99.3	▲4.4	3.3	4.0	0.7
情報産業関連	77.7	67.1	▲10.5			
電気電子産業関連	26.0	32.2	6.1			
環境・住設産業関連他	87.9	94.2	6.2	▲0.7	▲0.0	0.7
合計	802.3	823.1	20.8	41.0	34.0	▲7.0

(参考-4)

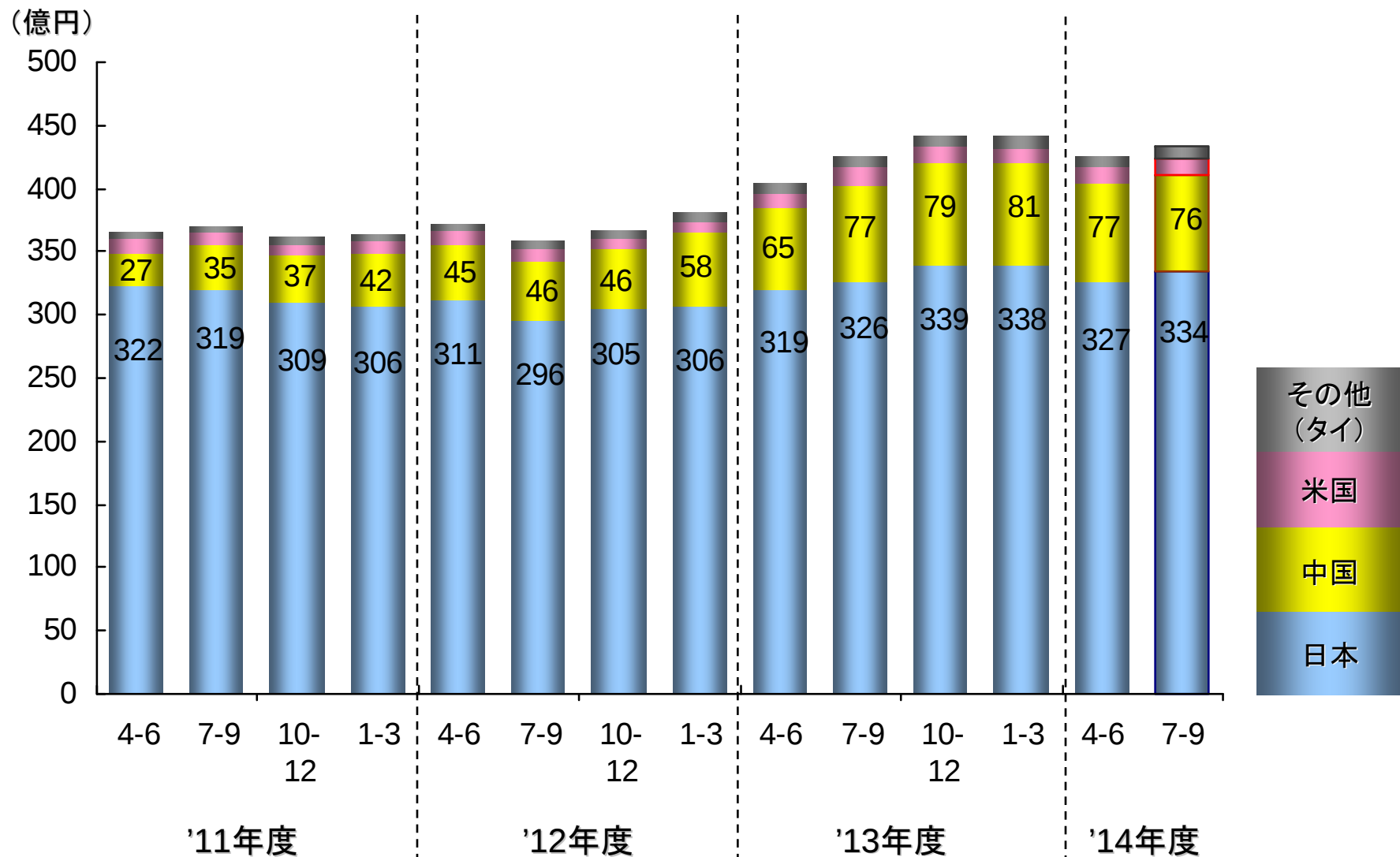
連結産業分野別売上高の推移



連結産業分野別営業利益の推移



連結所在地別売上高の推移(単純合算)



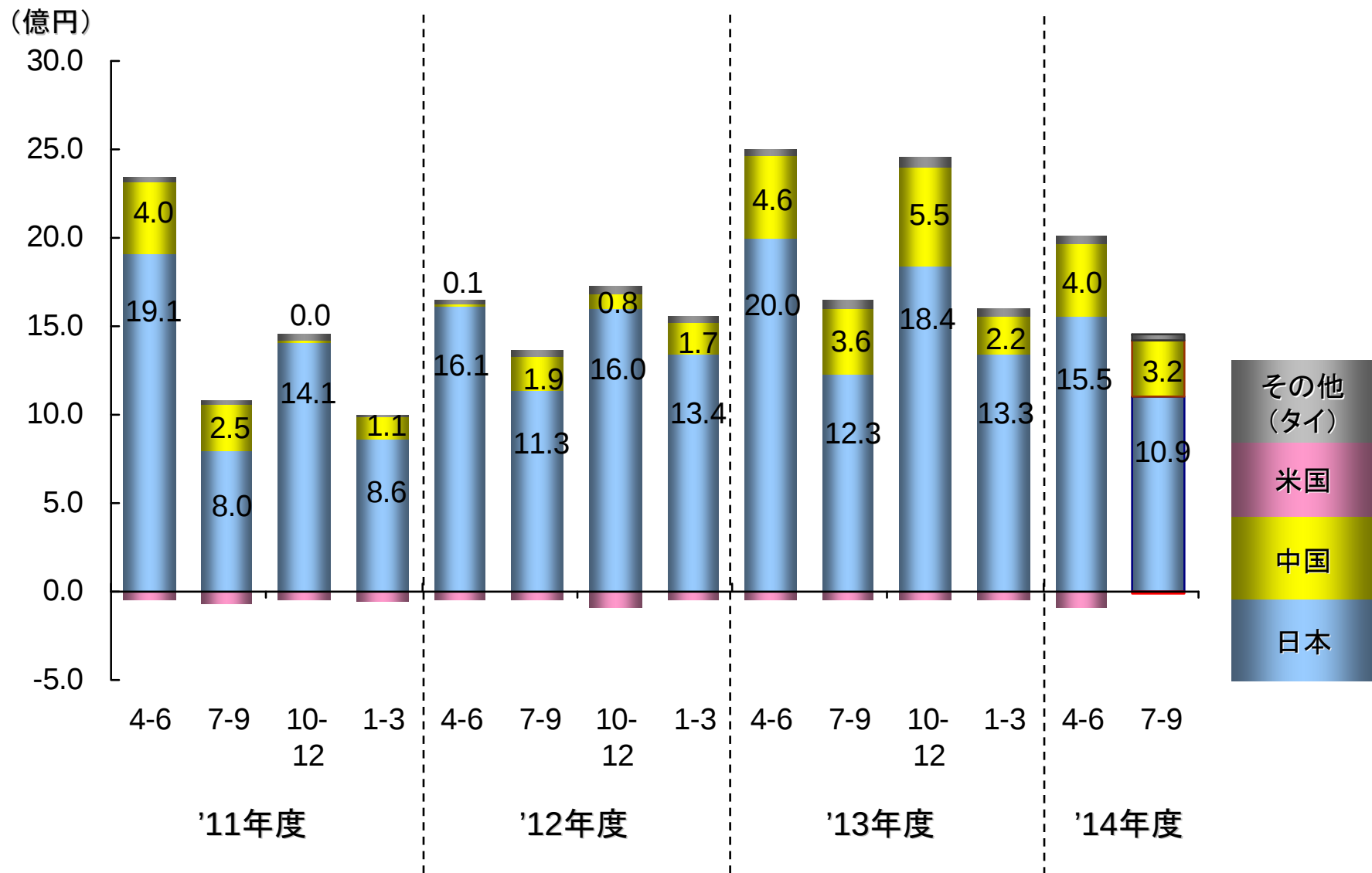
'14年度4-9月期 所在地別業績

(億円)

	売上高			営業利益		
	'13年度 4-9月期	'14年度 4-9月期	増減額	'13年度 4-9月期	'14年度 4-9月期	増減額
日本	645.6	661.7	16.1	32.3	26.5	▲5.7
米国	25.4	26.0	0.5	▲0.9	▲1.0	▲0.0
中国	142.5	153.7	11.2	8.3	7.3	▲0.9
その他(タイ)	17.4	17.2	▲0.2	0.8	0.7	▲0.0
合計*	802.3	823.1	20.8	41.0	34.0	▲7.0

* 合計値はセグメント間の内部取引等の金額を控除した数値

連結所在地別営業利益の推移(単純合算)



国内連結子会社(5社)

会社名	略号	議決権所有割合		事業内容
SDPグローバル(株)	SDP	三洋化成工業(株) 豊田通商(株)	70% 30%	高吸水性樹脂の製造販売
サンノプロ(株)	SNL	三洋化成工業(株)	100%	紙・パルプ薬剤、塗料用薬剤、 各種工業用薬剤等の製造販売
サンケミカル(株)	SCC	三洋化成工業(株) JX日鉱日石エネルギー(株)	50% 50%	ポリウレタンフォーム用原料等の製造
サンアプロ(株)	SA	三洋化成工業(株) エアー・プロダクツ	50% 50%	エポキシ樹脂硬化促進剤、 ウレタン化反応触媒等の製造販売
三洋運輸(株)	三運	三洋化成工業(株)	100%	運送業

海外連結子会社(7社)

会社名	所在国	略号	議決権所有割合		事業内容
三洋化成精細化学品 (南通)有限公司	中国	SKN	三洋化成工業(株)	100%	界面活性剤、 ウレタン樹脂等の製造
三大雅精細化学品 (南通)有限公司	中国	SDN	SDPグローバル(株)	100%	高吸水性樹脂の製造販売
三洋化成(上海)貿易 有限公司	中国	SCST	三洋化成工業(株)	100%	界面活性剤、 ウレタン樹脂等の販売
Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.	タイ	SKT	三洋化成工業(株) 豊田通商(株)ほか	89% 11%	界面活性剤、ウレタン樹脂 等の製造販売
SANAM Corporation	米国	SANAM	三洋化成工業(株)	100%	米国子会社の統括会社、 潤滑油添加剤、ウレタン ビーズ等の販売
Sanyo Chemical & Resins, LLC	米国	SCR	SANAM Corporation	100%	潤滑油添加剤等の製造
Sanyo Chemical Texas Industries, LLC	米国	SCTI	SANAM Corporation	100%	ウレタンビーズの製造

持分法適用会社(5社)

会社名	略号	議決権所有割合		事業内容
(株)サン・ペトロケミカル	SPCC	三洋化成工業(株) JX日鉱日石エネルギー(株)	50% 50%	合成ゴム原料の製造
Sunrise Chemical LLC [米国]	SRC	SANAM Corp. JX・ニッポン・ケミカル・テキサス	50% 50%	合成ゴム原料の製造
名古屋三洋倉庫(株)	名三倉	三洋化成工業(株)	100%	倉庫業
塩浜ケミカル倉庫(株)	塩ケミ	三洋化成工業(株) JX日鉱日石エネルギー(株)	50% 50%	倉庫業
(株)サンリビング	SL	三洋化成工業(株)	100%	不動産、保険代理業